

仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

〒980-0822 仙台市青葉区立町 9-7 仙台 YMCA 内

TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:kato@world-travel.co.jp

CHARTERD JAN3, 1980

- ◆国際会長主題【Let Your Light Shine.】輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen (デンマーク)
- ◆アジア太平洋地域会長主題【Be the light for change】変革のための光となろう 利根川 恵子(川越)
- ◆東日本区理事主題【Instil Confidence in our Youth】未来のために今、学びと気づきを！山田公平(宇都宮)
*スローガン:ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに
- ◆北東部部長【ユースと共にクラブのミッションを育てよう】 大久保知宏(宇都宮)
- ◆クラブ会長【ワクワクしながらワイズを楽しもう！】 加藤重雄(仙台青葉城)

<今月の聖句>

「あなたがたの天の父は、これらのものがみな、あなたがたに必要なことをご存じである。まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものはみな添えて与えられる。」
マタイ 6 章 32-33 節(貧しさに苦しむ人へ)

2023年10月

ASF

ワイズメンズクラブ創始者を記念して設置された国際協会の基金

巻頭言 第33回メネットナイトを迎えて

メネット会長 加藤真子



久しぶりの4年越しの「メネットナイト」を開催できますこと大変嬉しく思います。過去のブリテンを探してみたところ、16年前の池田裕子さんの巻頭言が出てきました。当時は2007年ですので、あれから16年。手記を読みますと、第20回の開催となっています。ということは、コロナで3年できませんでしたので、今年でメネットナイトは何と33年！です。池田裕子さんの手記を交えて、これまでのメネットナイトを経て、今年のメネットナイトへとお誘いいたします。『』内太字は、池田さんの文章です。

『青葉城クラブのメネットナイトも回を重ねて今年で20回目になります。』

クラブ年間活動の中、10月は「メネットの月」なので年に一度例会をまかせ取り仕切ります。メネット会は計画の段階から少ないメンバーで知恵を出し合い話し合いを重ねて取り組んでまいりました。その間色々学ぶことが多くありそれがメネット会の活力となり活動を支えて来たように思います。

さてメネットナイトには毎年ゲストスピーカーを招いておりまして第一回は丁度その年に宮城県国際交流協会が留学生里親制度が始まり、青葉城クラブは早速参加しましたのでホストファミリーとして留学生を招きお国の話を聞き、手作り料理で楽しい交流を深めたことを懐かしく思い出します 中略「忙中閑あり」ワイズライフを楽しんでまいりましょう』

その後、記録を紐解きますと、●仙台夜回りグループ ●仙台いのちの電話 ●平和を祈る七夕市民のつどい ●菊地康子さん ●みやぎ野菜ソムリエの会 ●東北大防災士保田真理さん ●ハワイのお話とフラダンスのタベ ●ピアノとギター「アネモネ」 ●二胡演奏 など多彩な顔触れがありました。

今年2023年は、私加藤メン・メネットの旅仲間であります渡辺圭一君に馬頭琴演奏をお願いしました。モンゴルの大草原に馬頭琴の音色は本当によく合います。皆様にもしばしの間、モンゴルに思いを馳せながら秋の一夜を楽しんでいただければと思います。

9月例会	出席率 69%	スマイル	ファンド
会員数 16名 出席者 11名 MakeUp	メネット 2名 コメント 2名 ゲスト 2名	19,500円	128,180円

会長：加藤重雄
副会長：井上勇二郎
書記：涌澤博
会計：菊地弘生
メネット会長：加藤真子
担当主事：土橋敬太

9/21(木) 9月第一例会 <入会式> 報告 *ネパールのクラブとIBC 締結へ

司会: 涌澤博

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. 開会点鐘 | 会長 加藤重雄 |
| 2. ワーズソング・信条 | 一同 |
| 3. 会長挨拶 | |
| 4. ゲスト紹介 | |
| 5. 入会式 シュレスタ ハリ ゴパルさん | |
| 6. 今月の聖句朗読 | 齋藤 篤 |
| 7. 会食 食前感謝 | 齋藤 篤 |
| 8. ゲストスピーチ「YMCA とワイズメンズクラブとは」 | |
| スピーカー: 清水弘一さん(石巻広域クラブ) | |
| 9. YMCA 報告 | 担当主事 土橋敬太 |
| 10. スマイル | |
| 11. ハッピーアニバーサリー | メネット会長 加藤真子 |
| 12. 閉会点鐘 | 会長 加藤重雄 |

8 月例会出席者

阿部頌栄(zoom 参加)、尾木善宣、加藤重雄、金原道子、菊地弘生、岸田清実、齋藤篤、佐竹辰太郎、シュレスタハリゴパル、土橋敬太、涌澤博、メネット: 加藤真子、シュレスタ サリタ
 ゲスト: 清水弘一さん(石巻広域)、竹内聰さん(東京ひがし)



この度、ネパールの子供たちへランドセルを贈ろうという運動がとり持つ縁で、仙台在住のシュレスタハリ ゴパルさん(通称ハリさん)と出会い、その後は是非入会したいという申し出を受け、今回正式に入会となりました。またまた青葉城の若手のメンバーが増えました。東日本区での平均年齢をみますと断然若い青葉城クラブです。

ハリさんの入会がきっかけで、何とネパールのルンビニクラブとの IBC(国際兄弟クラブ)締結が、トントンと進み、11/3 から香港で開催される「アジア太平洋地域大会」の中で締結式が行われることになりました。

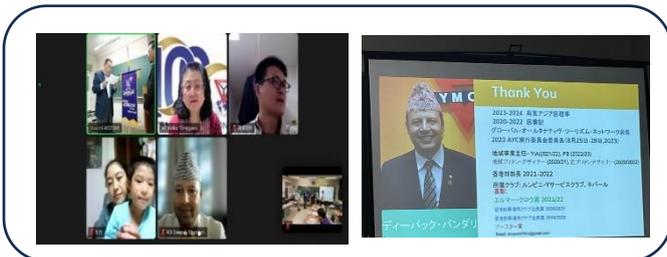
※その経緯についての詳細は 3 ページに掲載



久しぶりの入会式は、青葉城クラブの伝統により、灯りを消してろうソクの火を順に移していく方式で一人一人に挨拶をしながらハリさんを迎えました。ネパールの衣装を身に付けたメネット、そしてすっかりメンバーの尾木さんになつて離れないコメント、これからご家族も一緒に活動していきたいと願います。

今回のゲストスピーチは、石巻広域クラブの清水弘一ワイズによる「YMCA とワイズメンズクラブとは」と題して、スピーチをいただきました。

その席上、利根川アジア太平洋地域会長の取り計らいでネパール・ルンビニクラブのディーパック・マンダリ氏が利根川会長とともにオンラインで参加し、入会者のハリ氏と当クラブのメンバーとも親しく挨拶を交わすことができました。



Zoom 参加の皆さん(利根川さん、ルンビニのディーパックさんも)

ネパール・ルンビニクラブと仙台青葉城クラブとの IBC 締結に至る経緯について

このたび両クラブの IBC 締結に至った経緯を申し上げます。

東日本大震災発生から5年後の 2016 年 5 月に在仙3ワイズメンズクラブ(仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川)がスポンサーとなって石巻広域クラブが誕生しました。石巻広域クラブは東日本大震災支援活動で協働関係にあった東京むかでクラブ、神戸ポートクラブと DBC 関係にあり、有志クラブとともに 2021 年にアフガニスタンの子どもたちを支援するための「思い出のランドセルギフトプロジェクト」実行委員会を立ち上げて活動を開始しました。

東日本大震災の発災直後、多くの小学生が、大切にしていたランドセルを失いました。その子どもたちを支援しようと、全国から「中古」のランドセルが寄付されました。しかし、その後しばらくすると、ランドセル業者が「新品」のランドセルを被災者へ贈呈する支援活動を始めたので、「思いの込められたランドセル」である中古のランドセルは、受け取り手を失ってしまいました。そうしたランドセルを大切に保管していたおひとりの支援者から、2021 年 11 月 20 日、130 個のランドセルをお譲り頂きました。ここから、このプロジェクトは実質的にスタートすることになりました。

その後震災支援として全国から送られたランドセル約 2,000 個は石巻広域クラブと実行委員会の管理の下に集められ、アフガニスタンの子どもたちに約 630 個が公益財団法人ジョイセフの協力を得て贈られました。当クラブは、石巻広域クラブから残りのランドセル支援先の相談を受けて、昨年、そのうち 800 個をモンゴルの子どもたちに届けることができました。そして、昨年 6 月には、当クラブの加藤会長と在仙ネパール人協会支部長のハリ氏との出会いがあり、ハリ氏が経営するお店で移動例会が開かれ、その席上、ハリ氏から地方の教育環境の恵まれないネパールの子どもたちにランドセルを贈りたい旨の意向が示されました。

今年に入り、4月クラブ例会においてハリ氏をゲストスピーカーに招いてネパールの現状を知ることができました。ランドセルプロジェクトの関係で当クラブとの交流が始まって一年、ようやくネパールでのランドセルの受け入れ態勢が具体化し、8月11日、航空便で発送するため500個を仙台より在日ネパール人協会の責任者の倉庫まで運搬し一時保管しました。並行してハリ氏は当クラブへの入会を希望し、9月の例会で家族全員が出席して入会式を行うことができました。入会式にはゲストスピーカーで石巻広域クラブの清水ワイズを招き、「ワイズメンズクラブとYMCA」をテーマにネパールでのワイズの活動も含めてスピーチしていただきました。その席上、利根川アジア太平洋地域会長の取り計らいでネパール・ルンビニクラブのディーパック・マンダリ氏が利根川会長とともにオンラインで参加し、入会者のハリ氏と当クラブのメンバーとも親しく挨拶を交わすことができました。

翌日、加藤会長はメネットとともに石巻広域クラブの9月例会に参加し、帰宅途中倒れられ緊急手術となり、現在、入院中で懸命に闘病中であります。

9月例会より一週間後、利根川会長を通じてルンビニクラブのマンダリ氏より「香港大会の席上でIBC締結式を行えないか」との連絡が入りました。加藤会長は入院中ですが、加藤メネット会長とも相談して、急遽、役員会を招集し、協議の結果、加藤会長自身も入院前には IBC 締結を熱望されており、ルンビニクラブからの申し入れを感謝して受け入れることになりました。

なお、現在ネパールの子どものためのランドセルも一部がカトマンズ市まで到着し、今後ルンビニクラブの地域支援プロジェクトへの協力を契機として、ルンビニクラブとの交流を深めてまいりたいと思います。



2023 年 10 月 11 日

東日本区・北東部
仙台青葉城ワイズメンズクラブ
会長代行 井上 勇二郎
クラブ会員一同

メンバー紹介(4)

菊地弘生さん



皆さんこんにちは！

今年の夏はとにかく暑かった。季節は秋なのですが、感じるのは朝夕の虫の声ぐらいです。実りの秋はもう来ないのではと思うぐらいの異常な気象変化がつづいています。

また、これと相まって、感染症の拡大、食糧・エネルギーの変容は経済を混迷深化させ、戦争の時代へと突き進んでいくのでしょうか。それとも生物多様性の変化を的確に捉え、人類滅亡に至らない選択の道を模索し、今までとは違う世界の秩序・価値観を見出ししていくのでしょうか。これらの事象は、当然に各国の主権者が決めるものではないことだけは確かに言えます。

話は変わりますが、仙台 YMCA プログラムは、バザーに始まりチャリティーランが戻り、久しぶりにみんなの躍動感に感動しました(来年 30 周年を迎えます)。そしてチャリティーゴルフが 10 月 19 日に。同日に当クラブのメネット・ナイトが復活します。プログラムがこのまま順調に進んで行く事を願っています。

10 月 8 日盛岡 YMCA40 周年式典に出席する機会を得ました。第 2 部で山田公平さんは、「世界を見つめ地域に生きる」と題して、ユースアクションの具体的な例示を挙げられる。理事通信速報版では、クラブ目標を挙げて自ら取り組んでもらう事を願っています。と、伝えています。

自己紹介が最後になりましたが、ゴルフが好きなおっさんです。これからもよろしく！

YMCA ニュース 報告:土橋敬太

西山児童館「じどうかんまつり」祝 10 周年

日 程:10月21日(土)

時 間:10:00~12:00 *09:15 集合

第52回仙台YMCAクリスマス

日 程:12月1日(金)

時 間:18:00~20:30

会 場:トークネットホールみやぎ 展示室

<これからの例会予定>

11月例会 : 11/11(土)

☆いも煮会例会 *金原さん宅

12月例会 : 12/23(土)クリスマス例会

☆子どもたち(コメット)と一緒に祝い
しましょう！



10月 HAPPY BIRTHDAY

10月12日 金原道子さん

10月24日 菊地吉子さん

10月26日 車塚 潤さん

10月30日 SHRESTHA HARIGOPAL さん



<編集後記>

実りの秋を迎えました。今期久しぶりのブリテンとなりましたが 10 月号が発行できましたことほっとしております。少しでもクラブ活動の理解と、会員の繋がりに役立つことになれば嬉しく思います。メネットナイト、いも煮会、そしてクリスマスと家族で楽しむ行事が続きます。クラブメンバーの交流をより深めたいと願います。